

2025 年 6 月 5 日

ニュースリリース
報道関係各位

入江工研株式会社

100 年続く企業の実現に向けて SDGs 活動報告 2024 地域・社員・社会とともに歩む

半導体製造装置・高速鉄道等に活用されるペローズ※¹の開発・販売を手掛ける入江工研株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長 入江 則裕 以下、当社）は 2024 年 3 月に発表した SDGs 宣言に基づき、4 つの柱を設け事業活動を推進してまいりました。【完全な製品と出来る限りのサービスを顧客に提供し、当社製品を永く使っていただき、顧客の心を掴み続ける事により、「100 年続く会社」の実現を目指します。】を企業理念に掲げており、100 年企業を目指すためには持続可能な社会で実現すべきことであると考えています。このたび、SDGs 宣言の策定から 1 年が経過したことを受け、2024 年度における活動のご報告をいたします。



※¹「ペローズ（Bellows）」とは、日本語に訳すと「蛇腹」という意味を持ちます。工業製品でいう「蛇腹」とは紙・布・プラスチック・金属などの膜ないしは板状の部材で作られる、山折りと谷折りの繰り返しの構造の製品です。真空を扱う分野では、一般に金属で製作した筒状のものにひだを設け、伸縮性・気密性・パネ性を持たせたものを「ペローズ」と呼んでいます。つまり、「ペローズ」＝「伸縮管」です。

■ポリシー 1 【小さな世界企業】として、独創的な製品・サービスをご提供し社会へ貢献いたします



-AIリテラシー学習の実施-

AI 技術を持つ人材を育成することを目的に、2023 年度に 20 名が AI 学習アプリを受講しました。2024 年度にはさらに 20 名が手を上げ、前回と合わせて 40 名が受講完了し、当社の約 20%が AI の基本を習得しました。受講者は AI の作成ではなく、AI の活用方法を学び、業務への応用のヒントを得ました。

受講終了後には、東京国際フォーラムにて AI 活用企画コンテストが実施され、6 グループに分かれて発表を行い、入賞チームには創立記念式典で賞金と賞状が授与されました。

また、入賞チームの AI は継続的に導入検討を行っています。2023 年度に特別賞を受賞したチームの翻訳 AI は実際に導入され、業務に活かされています。今後も AI の支援を受けながら、生産性と利便性の向上を目指します。



■ポリシー 2 環境負荷の低減及び人権保護に対する取組を推進いたします。



ーエコキャップ運動ー



本活動では、事業所内に専用の回収ボックスを設置し、使用済ペットボトルのキャップを回収しています。また、社員の家庭から出る不要なキャップも受け入れ、職場と家庭の両面からリサイクル活動を支援しています。

2024 年度には、本社にて 2,408 個のキャップを特定非営利活動法人エコキャップ推進協会へ、四国事業所では 12,543 個を伊予市社会福祉協議会へ寄付いたしました。これらのキャップは再生プラスチック原料として換金され、医療支援、障がい者支援、子どもたちへの環境教育など、さまざまな社会貢献活動に活用されています。

また、環境面においての効果も期待されます。例えば、2,408 個（約 5.6kg）のキャップを焼却処分した場合、約 17.64kg の二酸化炭素（CO₂）が発生するとされており、リサイクルによって温室効果ガスの排出を抑制することが可能です。

■ポリシー3 地域社会との共生に取り組めます。



地域社会貢献活動の一環として、本社および事業所周辺の地域の定期的な清掃、ゴミ拾いに取り組んでいます。事業所ごとに様々な地域貢献活動を実施しております。

当社が地域で企業活動が行えるのは、地域住民の皆様のご理解とご協力のおかげだと日々感じております。各事業所による活動の詳細は以下となります。

本社



所在地： 東京都千代田区内幸町 2-2-3 日比谷国際ビル 414

―地域清掃活動実施―

2024年6月6日および11月6日、千代田区の一斉清掃に合わせて、当社でも清掃活動を実施しました。今回は、丸の内から内幸町の新オフィスへ移転後、初めての清掃活動となりました。

ビル周辺を4つのグループに分け、歩道のごみ拾いを行いました。初めての場所での活動ということもあり、ごみの量は予測できませんでしたが、想像以上に街がきれい、参加者同士でごみを見つけると競い合うように拾う場面も見られました。

特に印象的だったのは「葉巻」の吸い殻で、その他にもタバコの吸い殻や空き缶、ペットボトルなどが目立ちました。周囲では他の企業の方々も清掃活動を行っており、地域全体での取り組みの一体感を感じることができました。今後も地域の美化と環境保全に貢献できるよう、継続して取り組んでまいります。



なお、本社での地域清掃活動実施の様子はゴミ拾い SNS ピリカ (<https://www.pirika.org/logi>) で公表しております。「入江工研株式会社」でご検索ください。

四国事業所



(中山工場)

所在地：愛媛県伊予市中山町出渕 4 番耕地 1580-1



(内子工場)

所在地：愛媛県喜多郡内子町川中 1910

—山道の安全確保—



2024 年 6 月 16 日、当社中山工場（愛媛県伊予市中山町門前地区）周辺にて、地域住民の方々と協力し、清掃活動を実施しました。清掃場所は、国道 56 号線から中山工場へと続く約 600 メートルの坂道です。この道路は地域住民の方々が日常的に通行されており、台風や大雨の影響で悪路となることもしばしば見受けられます。

蒸し暑い気候の中ではありましたが、午前 8 時から作業を開始し、約 3 時間半かけて無事に清掃を完了しました。作業前には落ち葉や土砂の堆積により白線が見えない箇所もありましたが、清掃後には白線がしっかりと確認できるまでに整備され、安全性が向上しました。

当社独自の取り組みとして、7 月 17 日および 8 月 22 日にも同様の清掃活動を実施しております。今後も地域の方々と連携し、地域貢献と安全確保に努めてまいります。



2025 年 1 月 10 日および 1 月 29 日の降雪により、当該山道では積雪が発生しました。交通の遮断による地域住民の方々の生活への影響を考慮し、通行が困難となった箇所を中心に、丁寧かつ迅速な除雪作業を実施しました。

作業はスコップによる手作業で行い、あわせて凍結防止剤を散布することで、路面の凍結を防ぐ措置も講じました。作業中は安全を最優先に取り組み、無事に完了することができました。

この除雪作業により、従業員の通勤や地域住民の方々の安全な通行を確保することができました。

特に高齢者の方々にとっては、積雪による孤立のリスクもあるため、本活動は非常に意義深いものであったと考えております。



―内子工場国道周辺・河川清掃―

(作業前)



(作業後)



2024 年 4 月 28 日、当社内子工場周辺にて、国道周辺の清掃活動を実施しました。国道 56 号線沿いの歩道周辺で、夏場の繁茂によって見通しが悪くなり、歩行者や車両の通行に支障をきたす恐れのある場所です。地域の環境保全と安全確保を目的とした本取り組みには、社員有志が参加し、日頃からお世話になっている地域への感謝の気持ちを込めて作業にあたりました。

―内子工場駐車場の開放―

地域の方々とのふれあいと交流を大切にする取り組みの一環として、以下の地域イベント開催にあたり、内子工場の駐車場を開放しました。

7 月 7 日：「親子ふれあい水辺のつどい」

8 月 15 日：「夏の集い盆踊り大会」

当日は、来場者の方々が安心してご参加いただけるよう、駐車スペースを確保し、スムーズな運営に協力させていただきました。地域の活性化と安全なイベント運営に少しでも貢献できれば幸いです。今後も地域の皆さまとともに歩む企業として、さまざまな形での支援を続けてまいります。

テクニカルセンター



所在地：埼玉県川越市下赤坂 740-5

—川越クリーンパートナー認定—

12月22日に川越市歳末美化活動へ参加いたしました。歳末美化活動は観光客に気持ちよく川越を観光してもらおうと2003年から続いている歴史ある活動です。当日は当社以外の方を含めて老若男女問わず60名ほどが集まりました。12名ずつ5チームが駅周辺や蔵造りの町並みを清掃しました。当日は寒かったですがボランティアの方から街を案内してもらいながら、途中あたたかいお茶休憩もあり、和気あいあいと2時間ほどごみを拾いながら歩きました。当社からは4名が参加し、上長が率先して動いたことによって社員にもクリーン活動の本気度が伝わりました。



また、2024年度より小学校通学路となっているテクニカルセンター周辺道路を中心に約750mの範囲で清掃活動を実施しております。このような地道で継続的な活動が評価され、2024年3月、川越市から「川越クリーンパートナー※²」に認定され、「SDGs宣言」の中の「地域社会との共生」および「環境負荷の低減及び人権保護に対する取組の推進」の活動がより一層強固なものとなりました。これらの成果は、地域社会との共生や環境保護に対する企業の真摯な取り組みの結果です。2025年度も「川越クリーンパートナー」として継続して活動をしていきます。



※²川越クリーンパートナー

川越市は環境美化活動支援制度の一環としてボランティアで道路や公園、河川などの公施設等の清掃活動を行おうという方々に、ごみ袋の支給や、ごみ挟み、啓発用ベスト、折りたたみリヤカーの貸出しを行っています。この制度を活用利用している団体で「原則3名以上、年6回以上の活動を行おうとする団体」で活動場所が「活動する団体の所有、管理する土地や建物の周囲のみでない団体」を「川越クリーンパートナー」として認定しています。

ポリシー4 誰もが生き生きと働くなかで成長できる環境の実現を目指します



—守破離アカデミーによる教育—

守破離アカデミーは、社員が自ら講師となり、動画による教育コンテンツを作成・共有する社内教育制度です。

100年企業を目指し、自社技術を磨きながら成長するためには若い人財の積極育成・定着が必要です。また、当社製品は職人による高度な技術が必要とされるため、その技術伝承が大きな課題です。そのため当社は「守破離アカデミー」を設立し、社内講師制度により「社員同士が教え合い、学び合う」組織の風土を形成し、自立型人材が育成されやすい環境の整備をすすめています。

教育コンテンツの制作に対する心理的ハードルや時間的制約を乗り越えるため、委員長や社長自らがユニークな動画を制作。社長の趣味である落語を取り入れた教育動画など、楽しみながら学べる環境づくりを推進しました。

現在までに制作されたオリジナルコンテンツは100本以上に達し、今後は200本を目標に拡充予定。新入社員の育成が効率化され、OJT前に動画で基礎を学ぶことで、教育の質とスピードが向上。教える側のスキル向上や知識の再確認にもつながり、組織全体の学習効果が高まっています。

—社内お花の会発足・社内緑化活動—



社内お花の会は、社員が季節の花を活けることで、日常業務とは異なる視点から自分自身と向き合い、感性を磨き、社員同士のコミュニケーションを深めることを目的としています。特筆すべきは、当社社長 入江（華道 准教授）自らが講師として指導にあたっている点であり、トップ自らが社員の成長を後押しする姿勢が、社内に温かい学びの風土を育んでいます。

2024年度より本社にて活動を始め、1年間で計4回、20名以上の社員が参加しました。

また、2024年度は、『花と緑と真空と』を合言葉に、本社オフィスにおける緑化活動を行いました。その取り組みの一環として、完成した作品はオフィス内に飾られ、職場に彩りと癒しをもたらしています。社員の手による花々が、働く空間を明るく、心地よいものに変えています。



■最後に

今後も当社企業理念である【完全な製品と出来る限りのサービスを顧客に提供し、当社製品を永く使っていただき、顧客の心を掴み続ける事により、「100年続く会社」の実現を目指します。】を体現するために企業の社会責任のもと、SDGs活動を踏まえて具体的で継続的な取り組みを社会変化に応じ柔軟に実施することで、ステークホルダーの満足度を向上させてまいります。

以上

入江工研株式会社 会社概要

代 表 者：代表取締役社長 入江則裕

設 立：昭和41年5月24日

資 本 金：1億5千万円

住 所：〒100-0011

東京都千代田区内幸町2-2-3 日比谷国際ビル 414

電話番号：03-3507-9611（代表）

F A X：03-3507-9615（代表）

アクセス：<https://maps.app.goo.gl/iSsyCWrXXgq2rzDE6>

従業員数：200名（2025年3月31日現在）

<本件に関するお問い合わせ先>

入江工研株式会社 経営企画室 広報係

担当 岡田

TEL:03-3507-9617/ Fax: 03-3507-9615

Mail: koho@ikc.co.jp